

第1節 小学校におけるキャリア発達

1 各学年団におけるキャリア発達のとらえ方

次の表は、平成18年11月に文部科学省から出された「小学校・中学校・高等学校 キャリア教育推進の手引き - 児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てるために -」に示されているキャリア発達の特徴をまとめたものである。キャリア発達については、この表に基づき次のページで示した視点で理解することが大切である。

小学校段階におけるキャリア発達の特徴

低 学 年	中 学 年	高 学 年
学校への適応	友達づくり, 集団の結束力づくり	集団の中での役割の自覚, 中学校への心の準備
・あいさつや返事をする。 ・友達と仲良く遊び、助け合う。	・自分のよいところを見つけるとともに、友達のよいところを認め、励まし合う。	・自分の長所や短所に気付き、自分らしさを発揮する。 ・異年齢集団の活動に進んで参加し、役割と責任を果たそうとする。
・身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心をもつ。 ・係や当番の活動に取り組み、それらの大切さが分かる。	・いろいろな職業や生き方が分かる。 ・係や当番活動に積極的にかかわり、働くことの楽しさが分かる。	・身近な産業・職業の様子やその変化が分かる。 ・自分に必要な情報を探す。 ・施設・職場見学等を通し、働くことの大切さや苦労が分かる。 ・学んだり体験したことと、生活や職業との関連を考える。
・家の手伝いや割り当てられた仕事・役割の必要性が分かる。 ・作業の準備や片付けをする。 ・決められた時間や、生活のきまりを守ろうとする。	・互いの役割や役割分担の必要性が分かる。 ・日常の生活や学習と将来の生き方との関係に気付く。 ・将来の夢や希望をもつ。 ・計画づくりの必要性に気付き、作業の手順が分かる。	・社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。 ・仕事における役割の関連性や変化に気付く。 ・憧れとする職業をもち、今しなければならぬことを考える。
・自分の好きなもの、大切なものをもつ。 ・自分のことは自分で行おうとする。	・自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで取り組む。 ・自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり通そうとする。	・自分の仕事に対して責任をもち、見付けた課題を自分の力で解決しようとする。 ・将来の夢や希望をもち、実現を目指して努力しようとする。

キャリア発達について理解しておくべき視点

- ◆ 小学1年生では入学以前の段階（幼稚園など）との連携を踏まえて小1プロブレムへの対応が重視され、小学6年生では小学校卒業後の段階である中学校との連携を踏まえて、中1ギャップへの対応を考える必要がある。
- ◆ 人は社会における自己の立場に応じた役割を果たし、自分らしい生き方を実現しながら生活する中でキャリアを形成する。キャリア発達をとらえるためには、「社会における自己の立場」や発達段階において期待される役割を認識する必要がある。（p.7 参照）
- ◆ 低学年では主に次の3点，①小学校生活に適應する，②身の回りの事象への関心を高める，③自分の好きなことを見付けて伸び伸びと活動する，が挙げられている。あくまでも主な発達課題としてとらえて参考にするとともに，児童や地域の実態に応じて各学校ごとに設定することが望ましい。（p.107 参照）
- ◆ 中学年では主に次の2点，①友だちと協力して活動する中でかかわりを深める，②自分の持ち味を発揮し役割を自覚する，が挙げられている。自己に関する理解や自己の生活習慣にポイントを置いた低学年に対して，中学年では自己と他者や集団とのかかわりについての発達課題が中心となることに配慮する必要がある。（p.123 参照）
- ◆ 高学年では主に次の3点，①自分の役割や責任を果たし役立つ喜びを体得する，②集団の中で自己を生かす，③社会と自己とのかかわりから自らの夢や希望をふくらませる，が挙げられている。小学校においてリーダーシップを発揮する存在となる高学年では，集団において役割や責任を果たすことが強調され，さらに社会とのかかわりを重視し，各自の進路に夢や希望をもたせる段階であることを認識する必要がある。（p.143 参照）
- ◆ 担当する学年団のキャリア発達のみを視野に収めるのではなく，自分の属する学年団の前後の関係を理解することや，中学校の時期におけるキャリア発達との関連をとらえることなど，時系列的な関連性を理解し，系統的な指導を行うことができるようにすることが大切である。

2 各学校におけるキャリア発達の課題の具体的なとらえ方

各学校でキャリア発達課題を設定する際には，既成のマトリックスを参考にして検討する学校もある。しかし，大切なことは，児童や地域の実態に応じて次に挙げるような点に配慮し，各学校の現状に合ったキャリア発達の課題を設定することである。

- ①昨年度の学校評価の結果や児童の自己評価表などを参考にして，児童の実態を多面的に分析し整理する。
- ②目指す児童像や社会に求められる人間像と比較しながら，自校の児童の特徴や課題を分析し，そこから発達課題を考える。
- ③中心となる教員が（児童の実態に応じた）6年間を見通したマトリックスを作成し，それを基に教職員全員で，どの時期にどのような課題を設定することが適当かを話し合う。

次に挙げるのは，千葉市が作成したキャリア発達のマトリックスのモデル例である。

キャリア発達のマトリックスのモデル例

千葉市キャリア教育モデルプラン（小学校版）					
キャリア発達を促すために育成することが期待される具体的な能力・態度と関連する教科・領域の活動例					
領域	能力	1, 2年	3, 4年	5, 6年	
人間関係形成能力	◆ 自他の理解能力	◎自分の好き(嫌い)なことをいえる 「国語」一ぼく・わたしの好きなもの 「生活」一とだちたくさんほしいな ◎お世話になった人に感謝する 「特活」一楽しい給食 「道徳」一2・(4)日頃世話になっている人に感謝する 「生活」一つくって出そう年がじょう今のわたし これからのわたし	◎自分のよいところを見つける 「特活」一自己紹介 ◎自分の生活を支えている身の回りの人に感謝する 「道徳」一2・(1)礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接する 2・(4)生活を支えている人々や高齢者に尊敬と感謝の気持ちをもつ 4・(4)先生や学校の人々を敬愛し、みんなで作ろう	◎自分の長所、短所に気づく 「道徳」一1・(6)自分の特長を知って短所をあらため長所を伸ばす ◎自分の良さをのびす方策を考える ◎話し合いなどに積極的に参加し、自分と異なる意見も理解しようとする 「特活」一学級会(日常生活の諸問題) 「道徳」一2・(4)謙虚な気持ちをもち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切に	
	◆ コミュニケーション能力	◎返事、挨拶を 「道徳」一2・(1)違いを心掛ける ◎「ありがとう」の言葉 日常生活の中で 「特活」一6年生 ◎自分の考えを 「国語」一話したおもちゃはつ ◎友達との仲良 「生活」一あそび 「道徳」一2・(3)「特活」一1年生 ◎身近な人々の極的に関わる 「道徳」一4・(3)人々に親しんで 4・(4)郷土の文をもつ 「生活」一がっさん(あくしゅ大) 「国語」一めいし	◆ 役割把握・認識能力 ◎家の手伝いや割り当てられた仕事・役割の必要性がわかる 「道徳」一4・(2)父母祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして家族の役に立つ喜びを知る。 1・(2)自分でやらなくてはならないことはしっかり行う ◆ 計画実行能力 ◎作業の準備や片づけをする ◎決められた時間や約束を守ろうとする 「道徳」一4・(1)みんなが使うものを大切にし、約束や、決まりを守る「特活」一規則正しい生活 今年の抱負 ◆ 自己管理・選択能力 ◎自分の好きなもの、大切なものをもつ 「特活」一がんばっているね ◎して良いことと悪いことがあることがわかる 「道徳」一1・(3)良いことと悪いことの区別をし、良いと思うことを進んで行う ◎必要に応じてがんばることができる 「道徳」一1・(1)健康や安全に気を付けよう ◎お金や金銭を大切に、身の回りを整えながらまじめに規則正しい生活をする 「特活」一学級活動「安全」「規則正しい生活」「小遣いの使い方」など 「体育」一健康・安全に留意して運動をする	◎互いの役割や役割分担の必要性がわかる 「道徳」一4・(3)父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力しあって楽しい家庭をつくる ◎日常生活や学習と将来の生き方との関係に気づく ※様々な「体験活動」を通して ◎将来の夢や希望をもつ 「道徳」一1・(5)正直に明るい心で元よく生活する ◎計画を立てることの必要性に気づき作業の手順がわかる ※「総合」他全教育活動 「算数」一見積もりや見通しの力を生かす各教育活動 ◎学習等の計画を立てる ◎将来のことを考えることの大切さがわかる 「道徳」一1・(5)真理を大切に生きて進んで新しいものを求め工夫して生活をより良くする 「総合」一見つけよう今の自分未来の自分 ◎あこがれとする職業をもち、今、しなければならないことを考える 「道徳」一1・(2)より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけない努力をする	
	◆ 情報収集・探索実践能力	◎身近で働く人味・関心をもつ 「生活」一大ききけん、まちたんけん ◎必要なことを 「生活」一かって 「国語」一さげかもの図かんを作	◆ 課題解決能力 ◎自分のことは自分で行おうとする 「特活」一1・(2)年生になって 「生活」一たくさんできるようになったね たのしくあそぼう 「体育」一水あそび ◆ 生命尊重意識 ◎明るく楽しく生活する 「道徳」一1・(4)命やまかしをしないうるまにのびのびと生活する 2・(2)身近にいる幼い人高齢者に温かい心で接し親切にする 3・(2)生きること喜び、生命を大切にすることをもち 「たいせつなじぶん」 3・(3)美しいものにふれ、すがすがしい心をもつ 「国語」一読書単元「おてがみ」等 「音楽」一みんななかよし、みんなであわせて 「体育」一ボールけりゲーム ◎自然に親しむ 「道徳」一3・(1)身近な自然に親しみ動植物に優しい心で接する 「生活」一おおきなあれ 「国語」一土まきもちいい 「図工」一土まきもちいい	◎自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり通そうとする 「特活」一3・(4)年生になって 「道徳」一1・(3)自分でやろうと決めたことはねばり強くやり遂げる ◎自分の力で課題を解決しようとする ※「総合」他全教育活動 ◎生活や学習上の課題を見つけ、自分の力解決しようとする ※全教育活動 ◎将来の夢や希望をもち実現を目指して努力しようとする 「道徳」一1・(2)より高い目標を立て、希望と勇気を持てくじけないで努力する 「国語」一みずさぎの旅 「総合」一見つけよう今の自分未来の自分	
	情報活用能力	◆ 職業理解能力	◎係や当番の役割の大切さを知る 「生活」一まちたんけん 「特活」一掃除の ◎身近な仕事に 「生活」一まちたんけん	◎生命の尊さを感じる 「道徳」一2・(2)相手のことを思いやり親切にする 3・(2)生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切に 「国語」一読書単元「わすれられないおくりもの」「一つの花」等 「社会」一人々の安全を守る工夫 ◎気高さを感じる 「道徳」一3・(3)美しいものや気高いものに感動する心をもつ 「国語」一教科書美術画 ◎自然を大切に 「道徳」一3・(1)自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切に 「理科」一生物とその環境	◎自他の生命を大切に 「道徳」一3・(2)生命がかけがえないものであることを知り自他の生命を尊重する 「国語」一読書単元「大連じいさんとがん」「川とワリオ」等 「社会」一世界の中の日本、平和な国際社会の実現 ◎異郷の念をもつ 「道徳」一3・(3)美しいものに感動する心や人間の力を越えたいものに対する畏敬の念をもつ 「図工」一教育書美術画 ◎自然を大切に 「道徳」一3・(1)自然の偉大さを知り、自然環境を大切に 「理科」一生物とその環境

(平成17年度修正版)

(平成17年度修正版)

※本例は、小学校学習指導要領（平成10年12月告示，15年12月一部改正）に準拠し、「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について（調査研究報告書）」（平成14年11月，国立教育政策研究所生徒指導研究センター）で示されている職業的発達段階，発達課題，能力などをもとに，千葉市教育センターが千葉市キャリア教育モデルプランとして作成したものである。